

令和3年度

# 第1回 進路説明資料

令和3年7月

横浜市立浦島丘中学校

今年度のおもな日程(予定)

7月現在

※今年度については、予定変更が考えられますので、常に最新のものを確認してください。

月	おもな予定		備考
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回進路説明</li> <li>○第1回進路希望調査締め切り(～5日)</li> <li>○保護者面談(9～15日)</li> <li>○夏季休業(21日～)</li> </ul>	学校見学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今後の流れを確認、おおまかな方向性を考える</li> <li>○どこに学校見学に行くか考える。</li> <li>○進路の方向性の確認</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習・学校説明会など</li> <li>○生徒教育相談(夏休み明け)</li> </ul>	・面談	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明会・学校見学等に積極的に参加を説明会等で得た情報の整理</li> <li>○二者面談</li> </ul>
9	○2学期中間テスト(初旬)	・	
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2回進路説明会(初旬)</li> <li>○職業相談(ハローワーク)</li> <li>○第2回進路希望調査(中下旬)</li> <li>○3年三者面談(下旬)</li> </ul>	学習・他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○求人一覧表により就職相談</li> <li>○進路希望、志願・選考方法を徐々に絞り込む</li> <li>○受験(検)パターンの確認</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2学期期末テスト(中旬)</li> <li>○進路用写真撮影(希望者のみ)</li> <li>○第3回進路希望調査(下旬)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○結果と1学期成績を参考に進路希望先を検討 私立高校の情報を考慮しての相談</li> <li>○希望・成績等を踏まえて方針の確認</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年成績発表(11月までの成績)</li> <li>○三者面談(上旬) 学区・志願資格確認 私立受験校の確定(面談最終日まで) 校長面接(私立推薦受験希望者対象)</li> <li>○公立願書・面接シート等配布(中下旬)</li> </ul>	書類準備・試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>○<u>方針の確定、受験(検)校の確定</u></li> <li>○<u>私立はこれ以後の変更は不可</u></li> <li>○公立は年内には受験校を決め準備を始める</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○私立推薦入試</li> <li>○公立受験料振込(中旬)</li> <li>○公立・共通選拔出願(25～1日)</li> </ul>	試験準備	○県立、市立、定通等により日程、金額が違う
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年末テスト(上旬)</li> <li>○公立・志願変更期間(4～8日)</li> <li>○私立一般入試</li> <li>○公立共通選抜(15～17日)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力検査は15日 16・17日で面接・特色検査</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公立発表(1日) ○私立二次募集</li> <li>○公立二次・定通募集(3・4日)</li> <li>○公立二次・定通志願変更(7～8日)</li> <li>○3年学年末成績(必要に応じて高校に送付)</li> <li>○公立二次試験(10日) 定通学力検査(11、14)</li> <li>○二次発表(16日)、定通発表(18日)</li> <li>○定通二次募集(22、23日)</li> </ul>		○二次募集・定通分割選抜は <u>どこにも合格していない人が対象</u>

## はじめに

進路について考えることは、進学や就職など目の前の問題を考えるだけでなく、自分の人生設計を考えることです。自分をよく知り、自分らしい生き方を考えることが重要です。将来を見通した長期的な視点に立って進路を選択してほしいと思います。最終的には生徒一人ひとりが自ら主体的に判断し、自らの責任において選択をしなくてはならないことです。学校や家庭における進路指導とは、よりよい判断や選択ができるように適切な助言や援助を行うことです。

保護者の皆様には ①進路選択をするための目的意識を子どもに持たせる

②子どもを客観的に見つけ、広くかつ深く理解し、最高の助言者となる

③世間の評価に惑わされたり、高校や職業の格差を子どもに植え付けたりしない

④過度の期待で、子どもの負担になることのないようにする

の4つをお願いしたいと思っております。

なにかご質問等ありましたら、浦島丘中学校(045)421-6281 秋澤までお問い合わせください。

## 進路を考えるにあたって

### <1> 自分をよく知ること

① 自分の能力・適性および性格、長所、特技、興味・関心など自分の良さを知ること。

② これらを進学(または就職)の目的につなげていくこと。

自分の能力や適性を理解することは、進路を考える第一歩です。性格や価値観、趣味・特技、興味・関心など、一人ひとりに個性があります。自分の長所を伸ばし自分らしい生き方を実現できる進路を選択するためには、自分を正しく知ることが重要です。

### <2> 情報を集めること

① 希望する学校の説明会や体験入学、希望する就職先の見学などに積極的に参加すること。

② 受験ガイド、インターネットの利用や卒業生に聞くなどして、情報を集めること。

いろいろな職業についての情報や、その職業に就くための資格、それを実現するための進路先などを調べ、希望する上級学校や就職先に関する様々な情報を集めることも大切です。情報を持たないまま進路先を決めて後悔する例もあります。

### <3> 話し合い、相談すること

① 家庭内で十分に話し合うこと。

② 担任との進路面談を有効に。

進路に関してまず家庭内で十分に話し合ってください。人生の先輩としてのアドバイスをお願いします。また、遠慮なく学校にご相談ください。担任を中心に全職員で支援にあたらせていただきます。ただし、最終的な進路選択は生徒自身の権利および責任で行うという自覚を持たせてください。

### <4> 希望の実現に向けて努力すること

① 自分の将来の目的を持つこと。

② 自分の長所や特技を伸ばす努力、学力向上のための努力をすること。

自分の将来に目的意識を持ち、それを実現するのにふさわしい進路選択であってほしいと思います。また、それを具現化するためには、日々の地道な努力が大切です。

## 公立高等学校の入試選抜について

### (1) 学区

- 県立高校には学区はありません。県内すべての県立高校を自由に受検できます。
  - 横浜市立高校の普通科・総合学科の学区は横浜市内全域です。(戸塚高校音楽コースを除く)
  - 川崎市立高校の普通科の学区は川崎市内全域です。したがって、本校の生徒が川崎市立高校の普通科を受検する場合は学区外受検(合格者は定員の8%以内)になります。
  - 横須賀市立高校の学区は県内全域です。
  - 横浜市立高校の専門学科(横浜商業、サイエンス frontier)と川崎市立高校の専門学科の学区は県内全域です。
- ※ 本校の生徒が学区外ではなく普通に受検できる高校は、**すべての県立高校、すべての横浜市立高校と横須賀市立高校、川崎市立高校の専門学科**になります。

### (2) 志願資格

- 中学校(またはこれに準じる学校)を卒業した者、または当該年度3月に卒業見込みの者。
- 高等学校に在籍している人には志願資格はありません。
- **本人および保護者の住所が神奈川県内**にあることも条件です。勤務等の理由により保護者の住所が県外である場合は「志願資格承認申請」を行った上で出願します。
- 保護者の住所が横浜市外(県内であっても)である場合、横浜市立高校の普通科・総合学科(学区は横浜市内)を受検する際には「学区確認申請」を行った上で出願します。
- 川崎市内に転居を予定している人が川崎市立高校の普通科(学区は川崎市内)を学区内扱いとして受検する場合は、転居を証明する書類を添えて「学区確認申請」を行った上で出願します。
- 転居等の特別な理由がある場合を除き、**他の都道府県の公立高校に志願することはできません。**

### (3) 受検機会

以前の入試制度では、すべての課程で前期選抜と後期選抜の2回の受検機会がありましたが、現在の入試制度では、**全日制は共通選抜の1回に、定時制・通信制は共通選抜(募集定員の80%)と定通分割選抜(募集定員の20%)の2回**になります。検査の内容は、**全日制・定時制が共通の検査(学力検査・面接)。通信制が面接または作文**です。高校によっては、他に**特色検査**を行う場合があります。

### (4) 調査書の扱い

調査書の内容として、**各教科の学習の記録、総合的な学習の時間の記録、特別活動等の記録、行動の記録及び所見等**があります。**各教科の学習の記録では、2年次と3年次の評価・評定が選考の数値算出に直接関係します。**その他の内容は、受検者が提出する「面接シート」とともに面接の際の参考事項となります。**生徒会活動や委員会活動、部活動などの実績をもとに点数化することは行われません。**

## (5) 学力検査の内容(主にマークシート式)

全日制は、外国語(英語)、国語、数学、理科、社会の5教科が、定時制は、外国語(英語)、国語、数学の3教科が原則になります。いままでの学力検査以上に「思考力、判断力、表現力その他の能力」を測る問題が多くなるようです。検査時間は共通選抜が各教科50分間で100点満点、定通分割選抜では各教科30分間で50点満点になります。なお、独自問題による学力検査は行われません。

## (6) 面接の内容

面接は、全日制・定時制・通信制のすべての課程で行われます。入学希望の理由や、中学校での学習活動や校内外の教科等以外の活動に対してどのような意欲をもって取り組んだかなどについて質問されます。共通の観点は「中学校での教科等に対する学習意欲」「中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲」「入学希望の理由」の3つで、どの高校でも共通の観点にもとづいた質問がされます。高校によっては共通の観点以外に、学校ごとの観点(高校での学習意欲や将来の展望など)を設定する場合があります。面接は受検者全員に対して行われ、1人10分程度の個人面接で2人以上の面接官により行われます。

## (7) 面接シート

面接シートは、受検者の考えを記入して、出願の時に入学願書といっしょに高校に提出する書類のことです。面接の際の参考資料として活用されますが、直接の選考資料ではありません。記入する内容は、「1.なぜこの学校に入学したいのですか。」「2.中学校での教科等の学習活動に対して、どのような意欲をもって取り組みましたか。」「3.中学生のときに教科等以外の活動に対して、どのような意欲をもって取り組みましたか。」「4.自分自身のよいところはどのようなところだと考えていますか。」の4つです。

## (8) 特色検査

特色検査は、例えば美術関連の学科のデッサン、英語関連の学科の英問英答などの**実技検査**や、テーマに基づくスピーチやグループ討論などの**自己表現検査**のことをいいます。**すべての高校で行われるわけではありません**。特色検査を行う高校は学力検査を3教科まで減らすことがあります。

(昨年度実施は横浜翠嵐、希望ヶ丘、柏陽、横浜緑ヶ丘、YSF、白山美術科等)

## (9) 選考の方法

**共通選抜** 全日制・定時制→第1次選考：募集人員の90%まで、調査書の評定(2・3年)と実施した検査の結果をもとに定められた数値算出方法で選考されます。残りの10%は第2次選考(資料のない人等に配慮した選考)で選考されます。

通信制→調査書と実施した検査をもとに総合的に選考されます。

**分割選抜** 定時制→調査書の評定(2・3年)と実施した検査の結果をもとに定められた数値算出方法により選考されます。

通信制→調査書と実施した検査をもとに総合的に選考されます。

## (10) 各高校の選考基準

各高校の選考基準と特色検査の内容は、例年7月に3年生全員に配布される「**神奈川県公立高等学校選抜 募集案内**」に掲載される予定です。また、各高校の募集定員などは、例年11月に3年生全員に配布される「**神奈川県公立高等学校入学者選抜 志願の手引き**」に掲載される予定です。募集案内、志願の手引きのどちらの内容も神奈川県教育委員会教育局 教育指導部 高校教育企画課のホームページにも掲載される予定です。

## (11) インクルーシブ教育実践推進校について

城郷、川崎北、霧が丘、上矢部など県内14校で募集を開始。知的障害のある生徒が高校でともに学ぶための取組。

## 私立高等学校の入試選抜について

一般に「**推薦入試**」は調査書と面接で、「**一般入試**」は調査書・学力試験・面接で合否を判定します。学校や学科によっては作文などを行う場合もあります。

調査書については、公立高校の数値算出方法のように計算する学校や、評点を単純に合計する学校など、その扱い方は一定ではありません。

一般入試における学力試験は、国語・数学・英語の**3教科**が一般的ですが、学校によっては5教科、2教科、1教科+作文など様々です。

推薦・一般を問わず**面接はどの学校でも特に重視**されています。言葉遣いや服装・態度などはもちろんですが、それだけではなく、**その学校を選んだ理由**が明確でないといけません。「本校を志望した理由は何ですか？」は必ずと言っていいほど聞かれる質問です。面接の形態は、個人面接、集団面接、保護者同伴面接など学校によって様々です。

欠席や遅刻が多いと不利になる場合や、面接で理由を問われるような場合もあります。健康管理には十分に気を配ってください。

## (1) 推薦受験

- ① 学力や欠席日数など、各学校が要求する基準を満たしており、中学校長が学力面・人物面において適当と認めた生徒が対象になります。(普段の生活・取組姿勢が大切です)
- ② 他の学校は受験せず、**合格したら必ずその学校に入学**することが条件です。
- ③ 事前に中学校・高等学校間の入試相談が必要です。
- ④ 調査書・面接・作文等で合否が判定されます。

## (2) 一般受験

### <ア> 一般専願(単願)受験

- ① 他の学校は受験せず、**合格したら必ずその学校に入学**することが条件です。
- ② 事前に中学校・高等学校間の入試相談が必要です。
- ③ 調査書・学力試験・面接(学校によっては作文や実技試験などもあり)などで合否を判定します。

### <イ> 一般併願受験

- ① 一般に、公立高校が第1希望で、**公立高校が不合格だった場合には必ずその私立高校に入学**することが条件です。
- ② 事前に中学校・高等学校間の入試相談が必要ですが、学校によって併願はオープン受験扱いにして

いる場合もあります。

③ 調査書・学力試験・面接などで合否を判定しますが、専願の場合よりも合否のラインは高めになります。

④入試相談後の流れは以下のようになります。

＜例1＞ 私立併願出願 → 公立共通選抜出願 → 私立併願受験・合格 → 公立共通選抜合格  
→ 私立併願は入学辞退

＜例2＞ 私立併願出願 → 公立共通選抜出願 → 私立併願受験・合格 → 公立共通選抜不合格  
→ 併願私立校に入学(公立二次・定時・通信の受検は不可)

## ＜ウ＞ オープン受験

- ① 専願・併願などの区別はなく、合格しても必ず入学する必要はありません。
- ② 事前の入試相談はありません。
- ③ 学力試験の点数で合否を判定します。調査書の評点等は使いません。
- ④ 他の私立高校との併願も認めているので、日程が許せば何校でも受験可能です。しかし、事前に合否が読みにくいという欠点もあります。

## 学校説明会・体験入学について

### (1) 学校説明会

講堂やホールで、学校の特色・教育方針・教育課程・部活動や行事の特色・卒業後の進路・入試の傾向などを説明する会です。特に、入試に関する説明を中心に行うものを「入試説明会」といいます。

### (2) 学校見学会

学校の施設や設備を見学する見学会のほか、授業を見学する「公開授業」、部活動を見学する「部活動見学」などもあります。学校説明会と同時間開催される場合も多いです。

### (3) 体験入学

実際に授業や実習に参加したり、部活動に体験入部したりするなどの体験型プログラムです。学校を1日開放し、体験授業や体験入部・施設見学・授業見学のできる「オープンスクール」もあります。

### (4) オンライン

今年度はオンライン説明会・個別相談をしている学校が増えました。まだまだ来校式に比べて数は少ないです。Zoom(ズーム)というアプリを使用している学校が多いです。

### (5) その他

音楽・美術・体育などの学科では、実技試験対策の「実技講習会」や、実技を見てもらえる「実技アドバイス」などを行う学校もあります。また、多くの学校は文化祭を一般公開しています。私立高校の場合は、説明会・見学会・文化祭などの日に「個別相談会」を行う場合もあります。

※ 受験者に説明会参加を義務付けている学校や、参加者に加点を行う学校が増えています。

＜参加のしかた＞

・基本的には個人申し込みがほとんどで、方法は電話・ハガキ・FAX・HPなど様々です。まれに中学校を通じて一括申し込みになる場合もあります。その場合は進路担当の秋澤に申し出てください。

・服装はもちろん標準服です。その他、頭髪、態度、言葉遣い等、行き帰りのマナーも含めて入試と同じつもりで臨みましょう。

## 進路に関するアンケートまとめ 昨年度卒業生)

- ①進路先についてしっかり考えるようになったのは? →いつから考えればよかった?
- |                    |     |                 |     |
|--------------------|-----|-----------------|-----|
| <1位> 中学3年(4~7月)    | 37% | <1位> 中2から       | 48% |
| <2位> 部活引退から(7~10月) | 26% | <2位> 中3から(4~7月) | 21% |
| <3位> 中2から          | 19% | <3位> 1年から       | 18% |
| <4位> 3年10月以降       | 13% |                 |     |

「もっと早くから進路を考えておけばよかった。」と考えている人がほとんどです。  
特に「中2から考えればよかった」が半数です。

- ②文化祭や説明会等、志望校以外も含め、実際に高校を訪ねた回数は?
- |           |       |         |     |
|-----------|-------|---------|-----|
| <1位> 3校   | 29%   | <3位> 4校 | 20% |
| <2位> 6校以上 | 26.8% | <4位> 5校 | 15% |

- ③志望校を決めるにあたって、誰に相談したか?(複数回答可)
- |          |      |         |      |
|----------|------|---------|------|
| <1位> 保護者 | 160名 | <3位> 先生 | 126名 |
| <2位> 兄弟  | 128名 | <4位> 塾  | 98人  |

- ④志望校を決めた理由は何ですか?(複数回答可) → 一昨年前は、...
- |               |      |               |      |
|---------------|------|---------------|------|
| <1位> 金銭面      | 175名 | <1位> 学力       | 175名 |
| <2位> 校風・雰囲気   | 149名 | <2位> 校風       | 58名  |
| <3位> 高校卒業後の進路 | 121名 | <3位> 雰囲気      | 57名  |
| <4位> 距離       | 119名 | <4位> 距離       | 56名  |
| <5位> 学力       | 116名 | <5位> 高校卒業後の進路 | 175名 |

「校風・雰囲気」で決める人が多いです。  
校風や雰囲気をつかむのは見学・説明会が一番。

- ⑤受験に向けて、本格的に勉強を始めたのはいつから? →いつから始めればよかった?
- |                    |     |                 |     |
|--------------------|-----|-----------------|-----|
| <1位> 3年10月以降       | 35% | <1位> 中2から       | 39% |
| <2位> 中学3年(4~7月)    | 29% | <2位> 中3から(4~7月) | 24% |
| <3位> 部活引退から(7~10月) | 26% | <3位> 1年から       | 23% |
| <4位> 中2から          | 4%  |                 |     |

勉強を3年になって始める人がほとんどですが、入試が終わるともっと早くから始めればよかったと感じているようです。

- ⑥進路に向けてもっとしておけば良かったとか、後輩にアドバイス

・もっと早くから勉強しておけば良かった	37	・いっぱい勉強しておくべき	16
・もっと早くから真剣に考えておく	35	・色々な高校を調べておけば良かった	15
・何度も高校見学に行くべき	29	・英検や資格を取った方が良かった	7
・内申(授業)、成績、提出物が大切	27	・適度に休憩は必要	2

最後に・・・

今からご家庭で欲しいこと

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| ① 進路についての話を増やしていく    | ③ 提出物を厳守させる        |
| ② 高校の情報集め・高校見学などへの参加 | ④ 資格やボランティアの証明書の保管 |



横浜市立浦島丘中学校 ここ数年の卒業生のおもな進学先<順不同>

公立（全日制）

鶴見・神奈川・港北区	西・保土ヶ谷・戸塚区	川崎・その他県内	専門学科・普通科以外
神奈川県立鶴見 神奈川県立港北 神奈川県立岸根 神奈川県立横浜翠嵐 神奈川県立城郷 神奈川県立神奈川総合 神奈川県立新羽 横浜市立東	神奈川県立横浜平沼 神奈川県立光陵 横浜市立桜丘	神奈川県立大船 神奈川県立追浜 神奈川県立川崎	横浜市立みなと総合 神奈川県立金沢総合 神奈川県立鶴見総合 川崎市立川崎総合科学 横浜市立横浜商業 神奈川県立神奈川工業 神奈川県立磯子工業 川崎市立川崎
中・磯子・金沢区	南・港南・栄区	緑・青葉・都筑区	旭・瀬谷・泉区
神奈川県立横浜緑ヶ丘 神奈川県立氷取沢（合併） 横浜市立金沢	神奈川県立永谷 神奈川県立柏陽 神奈川県立横浜清陵	神奈川県立川和 神奈川県立白山 神奈川県立新栄	神奈川県立希望ヶ丘 神奈川県立横浜旭陵 神奈川県立横浜緑園

公立（定時制）

神奈川県立横浜明朋	横浜市立横浜総合	神奈川県立神奈川工業	
-----------	----------	------------	--

私立

青陵 横浜 武相 東京 橘学苑 桜美林 横浜創英 横浜清風 横浜隼人 横浜学園	法政国際 日本大学 東京実業 桐蔭学園 英理女子 駒澤大学 清心女子 蒲田女子 白鵬女子 朋優学院	山手学院 目黒学院 明治学院 三浦学苑 湘南学院 大森学園 駒澤大学 慶応義塾 横須賀学院 横浜創学館	工学院大学附属 鶴見大学附属 横浜商科大学 法政大学第二 町田調理師専門 横浜デザイン学院 日本体育大学荏原 東海大学附属高輪台 ヨコスカ調理師専門 東京工業大学附属科学技術
--	--	--	--

私立（通信制）

飛鳥未来	秀英	N	クラーク記念国際
第一学院	KTCあおぞら	あずさ第一	

----- き り と り せ ん -----

**アンケート** 進路説明会に関してのご意見やご感想、ご質問などございましたら提出ください。

年 組 お名前